

2018年2月26日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

株式会社昭和コーポレーションに投資実行

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、取締役会長 安東泰志、以下「NHC」）は本日、管理運営する3本目のファンドとなるニューホライズン3号投資事業有限責任組合（以下「NH-3」）が、熱絶縁工事の設計・施工・管理と熱絶縁配管支持金具等の製造販売の2事業を主な柱とする業界大手の株式会社 昭和コーポレーション（本社 東京都港区、代表取締役社長 高橋基夫、以下「昭和コーポレーション」）の全発行済普通株式を取得することを決定いたしました。

昭和コーポレーションは、独立系企業として60年以上にわたり化学、石油、電力といった基幹産業のプラント関連や商業施設、病院、学校などの設備の熱絶縁工事等の設計・施工・管理（エンジニアリング部門）と、熱絶縁配管支持金具等の製造・販売（製造販売部門）を経営の柱として業界大手の一角を担ってきました。

近年の世界的な環境問題への関心の高まりの流れの中で、環境保全の一躍を担う同社の主力である熱絶縁工事業は量的にも質的にも拡大、向上が予測されております。しかし、国内の人口減少や業界再編に伴う競争の激化など不透明な状況も同時に存在します。そのような中、こうした一連の課題の受け皿となってPEファンドの使命ともいえる事業承継問題を解決し、また同社が今後の産業再編をリードしていける会社であると考え、今回の投資実行にいたしました。NHCは今後これまでの成長支援の実績や多面的なネットワークを活かし、同社の企業価値の向上と成長支援を行ってまいります。

なお、2018年3月16日に、代表取締役社長の交代、並びに新たに社外取締役2名及び社外監査役1名を選任し、新組織体制となる予定です。

以上

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

成長支援、産業再編、事業再生のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から 2006 年 10 月の会社分割を経て通算 15 年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,500 億円超）を背景に、NHC として 3 本目、創業から 8 本目のファンドを運営しています。2002 年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、SnSnap、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス など、開示可能なエクイティー投資先だけで 39 社、全体では およそ 100 社になる日本随一の投資実績を有しています。

本件に関するお問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、上野

電話 03-5532-8921